

西谷会計

平成28年3月号



【お知らせ】

今年も「税制改正セミナー」を開催します。平成24年から毎年の開催で、毎年20名前後の方にご参加いただいています。

今年の日程は3月16日（水）で確定申告期限の翌日開催となります。平成28年度税制改正は、所得税、法人税、相続・贈与税は小粒な改正の印象ですが、消費税については平成29年4月1日の増税と軽減税率の導入を控えて、法整備が進んでいます。この機会にしっかりと確認しておきましょう。申込みは西谷会計事務所まで。

税制改正セミナー

平成28年度税制改正は、中小企業に大きな影響があります。質疑
について税制改正専門家としての法整備が徹底されています。また、
子育て支援、少子化対策、空き家対策のための規制が導入されま
す。この機会に是非、ご確認ください。

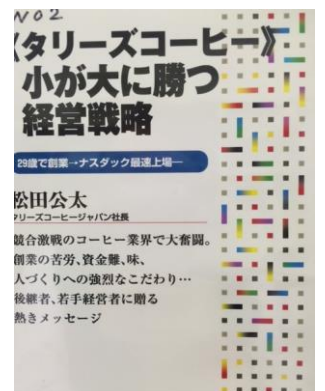
- 法人税
・税率を23.4%に引き下げ
・建物附属設備等の減価償却方法見直し
・企業倒産と納税の創設
・少額減価償却資産の特別見直し
 - 贈与税
・結婚・子育て資金の一括
非課税制度の拡充
 - 所得税
・住宅の二世世代間賃貸工事等に係る特
別創設
・空家を譲渡した場合の特別控除創設
・医療費控除の特例としてスイッチOTC薬
控除創設
・通勤手当の非課税限度額の引き上げ
 - 消費税
・軽減税率制度の導入
- 開催日：平成28年3月16日（水）
場所：西谷会計事務所 研修ルーム
定員：20名
時間：13:30～15:00
講師：公認会計士/税理士/行政書士 西谷俊広

【所長 西谷のDVDコレクションより～今月の一本 タリーズコーヒージャパン】

今月は手元になる経営ビデオの中から、「タリーズコーヒージャパン」の松田公太さんを紹介します。タリーズコーヒーはスターバックスと同じシアトル基盤のコーヒーショップで、全米2位の売上を誇ります。松田さんは1996年に創業者に直談判して、日本での店舗展開を実現しました。ターゲットを絞って売上を増やし2001年には当時の飲食業界最速で株式上場を果たしています。

ライバルであるスターバックスはサザビーリーグと組んでたくさんのお店を展開しました。サザビーリーグはアフタヌーンティーなど若い女性をターゲットにしている会社です。スターバックスはお洒落な銀座に出店するなど破竹の勢いで店舗数を増やしていきました。

一方、タリーズコーヒーは一号店こそ銀座に出店しましたが、思うように売り上げが伸びませんでした。松田氏は、味で戦うのであれば味の違いを分かってくれる人が集まる場所に出店することに戦略を転換します。ブランドだけで選ばれる銀座を離れて、オフィス街に進出することにしました。ターゲットは25歳以上のビジネスマン、小さなスタンド型の店舗でテイクアウト客を狙います。オフィス街なら周辺に新しいお店が出来たら一度は行ってみようと思うはず、美味しければリピーターになってくれると考えたそうです。神谷町のお店は大成功でした。



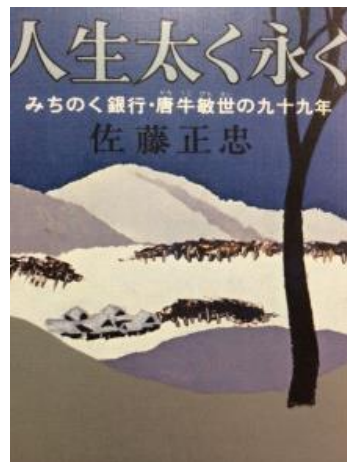
【所長 西谷の本棚より～今月の一冊 人生太く永く】

今回ご紹介するのは「人生太く永く」（佐藤正忠著）です。みちのく銀行創業者である唐牛敏世（かろうじびんせい）氏の一生を描いた本です。

国立銀行だった青森銀行とは違い、みちのく銀行は無尽講（むじんこう）に端を発しています。無尽講は頼母子講（たのもしこう）とも呼ばれ、古くは鎌倉時代までさかのぼる日本古来の金融形態です。庶民の相互扶助による金融機関として親しまれ、近代的な国立銀行とは異なる存在でした。青森県内には盛融、八戸、青森、津軽の無尽が存在しましたが、唐牛氏は最後発で弘前無尽を立ち上げます。1924年（大正13年）のことです。弘前無尽は先発の4つの無尽が次第に業績を悪化させる中で業容を拡大し、1951年には弘前相互銀行となります。地方銀行である青和銀行との合併によりみちのく銀行が誕生したのは1976年のことでした。地方銀行と相互銀行が合併してできた初のケースであり、初のひらがな表記の銀行でもありました。

唐牛氏が金融業を志すのは「人生僅か50年」の大正時代にあって45歳の時です。東京で株式投資に失敗し、小樽で米穀相場に深入りして大損し、函館でニシン漁の投機で損失を抱え、一攫千金を狙っては素寒貧を繰り返しました。故郷の黒石で再起をかけて、無尽の設立に奔走しますが、名前だけの役員に据えた土地の名士たちの裏切りによって、設立総会のまさにその日にクビを言い渡されます。唐牛氏の卓越した実務能力なくしては無尽会社を運営できないことが判明して、すぐに無尽会社に呼び戻されるのですが、その後も部下の暴力沙汰の責任を取らされてクビになり、対立勢力の反撃によってクビになっています。

波乱万丈というにふさわしい人生です。唐牛氏はしばしば「努力せよ」と部下を諭していたそうです。「努力したら100%報われるかといえばそうでもない。人間には運というものがある。努力しても報われないの方が率として多い。ただ、人間の一生のうちに何度か機会がある。その機会をつかめるかどうか。掴めるのは努力した人間だけで、従ってチャンスを掴むために努力せよ」だそうです。函館でニシン漁の投機に失敗し、年を越すお金を稼ぐために弘前に木炭を担いで売りに来た唐牛氏は、町はずれの宿屋に宿泊します。宿屋は二件ありましたが、お金のなかった唐牛氏は構えの貧弱な方の宿を選びました。その宿屋の主人から金融業の誘いをうけたのです。もう一つの宿に泊まっていたらみちのく銀行はなかったでしょう。



【夏子の部屋】

雪が降り続く青森の冬もようやく終わりが見えてきました。

2月の半ばに最高気温が5℃、7℃という日が続いたおかげで屋根の上や道端に積もった雪がかなり溶けてくれました。

屋根の雪が溶けて地面に落ちる音がポトポトポトポトと一日中続いて、あまりに長いので「ああ今日はとうとう雨になっちゃったんだな～」と何故だか思ってしまう、傘を持って外へ出ると、それは良いお天気でびっくりしました。

それにしても最近の天気予報は良く当たりますね。翌日からはまた寒くなると予報された通りにギンギンに冷え込みました。いかんいかん、うっかり「春がもうそこまで、るんるん」と思いかけてましたが、こんな時期にはしゃぐ青森市民がいるものかと気を引き締めた私です。

これは正に三寒四温なのではないか、と思い調べてみました。

ウィキペディアによると、三寒四温（さんかんしおん）とは冬季に寒い日が3日ほど続くと、そのあと4日ほど温暖な日が続く、また寒くなるというように7日周期で寒暖が繰り返される現象。（中略）

しかし、日本付近の天候はシベリア高気圧だけでなく、太平洋の高気圧の影響も受けるので、三寒四温が日本でははっきりと現れることはなく、一冬に一度あるかないかという程度である。そのため近年では本来の意味から外れて、春先に低気圧と高気圧が交互にやってきたときの気温の周期的な変化、という意味合いで使用されることが多くなっている。

との事。なんと、もともとは中国北東部や朝鮮半島におけることわざなんですって！

あー、間違っって覚えてた！早く、春、来てください～。



西谷会計事務所
〒030-0821 青森市勝田2-6-18
<http://www.248nishiya.com>

TEL 017-774-2315
E-mail nishiya-kaikei-jimusyo@tkcnf.or.jp